

令和6年度 まちづくりの集い（龍田地区）

概 要

日 時：令和6年9月20日（金） 19時00分から20時20分

場 所：太子町役場行政棟3階 ホール

令和6年度 まちづくりの集い 概要

1. 開催日時及び場所

日 時 令和6年9月20日(金)
開会：19時00分 閉会：20時20分
場 所 太子町役場行政棟3階 ホール

2. 町出席者

町 長 沖汐 守彦
副町長 榮藤 雅雄
教育長 糸井 香代子
総務部長 森 文彰
生活福祉部長 嶋津 一弥
経済建設部長 富岡 泰造
教育次長 福井 照子

<事務局>

総務部企画政策課（まちづくりの集い所管課）

課 長 山崎 将
副課長 佐々木 悟
主 事 西林 知穂

総務部総務課（行財政改革所管課）

課 長 栗田 政知
副課長 高見 良
行革推進員 山本 紀弘

3. 参加者

太子町連合自治会
太子町PTA 連絡協議会 など
計13名

4. 住民懇談・意見交換概要

別記にて記載する。

1. 開会あいさつ

沖汐町長

【開会あいさつ】

2. 町出席者紹介

山崎課長

【町出席者紹介】

3. 行政報告：持続可能なまちづくりに向けて一行財政改革の取組一

高見副課長

【説明】

4. 住民懇談・意見交換

住民 A

龍田地区はほとんどが調整区域であり、のどかな田園風景が広がる校区ですが、そこから見えてくる課題を4点挙げさせていただきます。

まず、今年の4月から休園が決まった龍田幼稚園について、廃園の方向で話が進んでいると伺いましたが、その利活用に関する点が1点目です。

続いて2点目です。現在104名が在籍している龍田小学校ですが、転入がなければ、6年後には龍田小学校の全校生徒が37名になる計算です。地域コミュニティにとって小学校は必ず必要であると考えますが、今後、龍田小学校をどのようにしていくか、これが2点目です。

3点目は土地利用についての課題です。農家の高齢化により後継者が不足し、保全管理しなければならない田んぼが増えています。併せて、そのような田んぼが増えたことを受け、鹿などによる獣害が増えてきていて、その対策が本格的に必要になってくるのではないかと思います。

最後に4点目です。龍田地区には総合公園があり、小学校行事や子ども達の遊び場として活用されているとともに、この夏からはバスケットボールの練習場としても活用されています。また、高齢者の交流の場としても活用されていて、総合公園を龍田地区の宝としてさらに活用していくべきであるという点が4点目です。

福井次長

まず、龍田幼稚園の活用についてですが、令和7年度は町有施設の改修工事に伴う代替施設として、各種行事を実施する予定となっています。令和8年度以降の利活用の方針につきましては現在検討中です。

調整区域という特性上できることも限られていますが、幅広い世代の皆様のご意見を参考に方針を決めていきたいと考えています。

教育長

龍田小学校については学区の再編や小規模を活かした取組を検討すべきとのご意見をいただいています。学区の再編は各方面への調整の関係上困難であるため、最も有効であると考えているのは、小規模であることを活かした取組を進めていくということです。

運動や英語等の各分野に特化した特色のある教育を行い、他の小学校区から通うことができる小規模特認校が兵庫県下にもいくつかあり、我々も視察に伺う予定です。

一学年 20 人程度の規模を想定していて学級経営がしやすく、学習でも細かく手がゆき届くことに加え、さらに特色ある取組ができればと考えていますので、皆様にも知恵をいただきたく、また意見をお聞きできる機会を持ちたいと考えていますので、よろしく願いいたします。

富岡部長

町内では農家の高齢化が進む一方、若手農業者で構成されるメッツファームという団体が兵庫県の農業青年クラブ連絡協議会に登録され、その他にも米やいちご農家、露地野菜の農家の方もおられます。

しかし保全管理しなければならない農地が増えていることも事実でして、町としても国庫補助金の活用や規制緩和により支援を行っていく予定です。

併せて、県と連携の上、ため池の整備事業も進めていて、龍田地区以外でもほ場整備に向けて取り組んでいるところです。

獣害につきましては、毎年鳥獣害駆除を行っていて、今後も引き続き取り組んでいます。

加えて 1 点ですが、太子町では山椒研究会という山椒の栽培を広げる活動組織があり、山椒の収穫量も毎年拡充していますが、町としてもできる限り休耕田の活用を進めています。

続きまして総合公園の利活用ですが、様々な形で活用いただいでいて、令和 3 年度にオープンしました体験学習施設も活用いただいでいます。今後、総合公園の西側に誘致を検討していて、飲食ができる施設の呼び込みを検討しています。

最後に 1 点、体験学習施設前の下水道のマンホールについて、マンホールカードを 2,000 枚作りましたところ、8 月末で配り終えてしまい、すごく人気がありました。

このような手法で観光にも使っていくとともに、皆さんに利活用していただけるような施設にしていきたいと思っておりますので、ご支援をお願いいたします。

住民 B

今住んでいる広坂についてお話ししますが、広坂では下校中の子どもたちを公民館に招き入れることにしています。子供会の会長さんが保護者へ連絡調整と活動の様子を LINE で配信するなど、気配りをしていただいたおかげで保護者にも受け入れていただき、高齢者との交流にもなっています。

また、コロナ禍以前より実施されていたふれあいサロンをリニューアルし、ふれあい茶話会を開催していて、毎回楽しく交流しています。

最後に広坂では子どもの数が増えていて、広坂に住むことになった理由を伺ったところ、「元々夫の実家が広坂にあり、実家の近くだと心強かったため」、「龍田小学校が好きだったから子供を通わせたいと思っていたため、広坂に戻った」とのことでした。

教育長

公民館に地域の皆さんがいてくださる環境が作られていること、龍田地

区、広坂地区の素晴らしさを聞かせていただきました。悪いところばかりが取り沙汰される SNS ですが、活用方法によっては親御さんの安心に繋がっていると思いますし、子供会活動の活性化という部分にも感謝の気持ちでいっぱいです。

また、子育てをご両親のお父様やお母様に手伝ってもらえるという環境は、ありがたいことだと思っています。今年のサマーフェスティバルにも行かせていただき、龍田地区の地域の皆様に見守られているという絆の強さを感じたところです。そのような取組が他の地区でもできれば素晴らしいと感じますし、龍田小学校だから帰ってきたいと言っていただけの学校にできるようにしていきたいと思っています。

住民 C

幼稚園のことが気になっていて、年齢問わず子供や地域の方が交流できる場所にしていただければと思っています。二葉にじいろ保育園の場所が「のびすく」だったときに利用していましたが、現在の「ひまはび」だと外で遊ぶことができないので、「ひまはび」と龍田公民館が担っている役割を龍田幼稚園でできないのかと思いました。

副町長

龍田幼稚園については、今言っていたようなことも視野に入れています。総合公園の横には工場がありますが、周りには公民館や小学校、今言われた「ひまはび」がある中で、例えば幼稚園跡地に製造業等の企業が来ることは通常は考えられません。

子供向けの施設としての利用、また民間の施設も含め、様々な選択肢がありますので、どういうものが適切か、地域の方のご意見を参考に、今後検討していきます。

5. 閉会あいさつ

榮藤副町長

【閉会あいさつ】